

当社子会社敷地内での土壤汚染状況調査の結果について

当社の子会社であるセントラル硝子販売株式会社（以下、CGS、本社：東京都杉並区）は、土壤汚染対策法に基づき土壤汚染状況調査を行った結果、鉛の土壤溶出量基準不適合が確認されたので2022年9月8日に静岡市へ調査結果を報告いたしましたことをご知らせいたします。

1. 経緯概要

CGS静岡支店は、1982年から、硝子及び鏡の加工（切断、研磨、洗浄）を行って参りました。先般、同事業所が事業を停止したことに伴い、土壤汚染対策法第3条第1項に基づく土壤汚染状況調査を実施したところ、鉛が土壤溶出量基準を超えて検出されました（深さ最大1.7m、地下水は基準適合）。汚染原因は判明しておりませんが、2007年3月まで同事業所で使用されていた塗料（鏡の裏面に塗布されるもの）に鉛が含まれていたことから、同塗料使用当時、一部が表層土壤に漏洩した可能性が考えられます。近隣住民の皆様にご心配をおかけする事となり、誠に申し訳ございません。掘削除去等の必要な対策を実施して参ります。

2. 調査事業所

- 1) 名称：CGS静岡支店
- 2) 所在地：静岡県静岡市葵区牧ヶ谷 2383 番 1 他
- 3) 敷地面積：3,303.29 m<sup>2</sup>

3. 調査結果

調査対象地において、調査地点 34 箇所のうち 7 箇所で、鉛の土壤溶出基準（0.01mg/L 以下）の不適合（0.011～0.045 mg/L）が確認されました。調査地点は敷地を 10 m 四方に区切って設定されております。基準不適合の深度範囲は最大 1.7 m です。それより深い箇所及び地下水の基準不適合は確認されていません。

4. 今後の予定

近隣住民の皆様に対し、静岡市の担当課が訪問の上、井戸水の利用状況の調査が実施される予定です。その際、飲用井戸があった場合は静岡市にて地下水の水質（今回基準超過のあった鉛についてのみ）の調査も実施される予定です。

- ・ 対象範囲 調査事業所倉庫から地下水の流向の下流約 80 m の範囲内（別紙参照）

今後、同調査結果を踏まえ、静岡市をはじめとする関係各所のご指導をいただきながら、掘削除去等の必要な対策を当社にて実施してまいります。

以上のとおり、近隣住民の皆様方をはじめ、関係各位に大変ご心配をおかけする事となり、誠に申し訳ございません。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

セントラル硝子株式会社 硝子販売部 03-3259-7119

1 汚染地点



2 地下水利用状況調査対象範囲（下図赤線内部）

